

「八戸港BCP訓練」を開催します（平成27年度）

東日本大震災による港湾の災害は過去最大級のものとなり、太平洋側の港湾施設や臨海部企業の工場などが甚大な被害を受けました。これにより、八戸港においても港湾物流が停滞したことから、災害時の物流機能の早期回復に向けた取組が課題となっています。

このような状況を踏まえ、港湾関係者（国・県・市、臨港部企業等）により、去る平成25年3月に「八戸港BCP※」が策定され、同年6月に「八戸港港湾機能継続協議会」が設立されました。

その後、「八戸港BCP」に基づき、協議会関係団体は年1回の「八戸港BCP訓練」を開催しており、今年度は下記のとおり開催いたします。

※港湾BCP（Business Continuity Plan）：港湾機能継続計画

記

- 開催日時：平成27年10月6日（火） 13:30～15:00
- 開催場所：八戸市水産会館 大研修室
- 議 題：①港湾BCP訓練の内容について
②港湾BCP訓練（応急復旧方針決定訓練）の実施

【問い合わせ先】

青森県 県土整備部 港湾空港課 港湾整備推進グループ

主	幹	おがわ 小川	たける
主	査	あきた 秋田	さとし 諭
電話017（734）9677 内線6760			

国土交通省 東北地方整備局 八戸港湾・空港整備事務所

保 全 課 長	おおやま 大山	みきとも 幹友
沿岸防災調査官	ひろせ 廣瀬	ひろゆき 裕之
電話 0178（22）9398		

災害発生から応急復旧までの流れ

大規模震災後の時系列・作業項目、必要な行動を考慮し、3つの訓練を実施することとする。訓練の構成は「①情報伝達訓練」、「②施設調査点検訓練」、「③応急復旧方針決定訓練」とする。

時系列・作業項目	必要な行動	訓練内容
災害発生	避難	
津波警報解除		
<ul style="list-style-type: none">・ 八戸港復旧対策本部設置	情報収集・報告	①情報伝達訓練 ・ H26年度（机上訓練）
<ul style="list-style-type: none">・ 目視による被災状況確認・ 発災時点検マニュアルによる施設の点検	災害協定団体へ要請	
	施設調査・点検報告	②施設調査点検訓練 ・ H25年度（実動訓練） ・ H26年度（机上訓練）
<ul style="list-style-type: none">・ 被災レベルの判定・ 応急復旧岸壁の選定・ 詳細調査の着手	応急復旧方針の決定	③応急復旧方針決定訓練 ・ 本年度実施する訓練
<ul style="list-style-type: none">・ 応急復旧工事の着手	応急復旧	

訓練の内容

①情報伝達訓練

災害発生から、津波警報が解除され、施設の調査点検終了までの間に、施設の応急復旧方針の決定に必要な情報を収集・整理する訓練。
また、この段階で必要となる災害協定団体への支援要請についての訓練も行う。

②施設調査点検訓練

地震・津波による施設の被災状況を目視で確認し、被災状況及び復旧見込みがある施設について点検帳票に記載する訓練、及び、施設の被災レベル判定により応急復旧による暫定供用の可能性の評価を行う訓練。

③応急復旧方針 決定訓練

施設の調査点検結果、及び、被災レベルの判定結果を基に、応急復旧を行う岸壁の選定や、アクセスルートの検討、がれきの集積場所の検討、応急復旧優先順位の決定など、施設の応急復旧方針を決定する訓練。

本年度実施する訓練